

この春、行きたい 12の名所 長岡桜マップ

岡観光事業課 ☎39・2221

約380本
河川緑地たちばな公園
与板町与板



大人気の“恐竜滑り台”など、たくさんの遊具がある公園周りを桜が彩る。ライトアップ（4月6日(土)～21日(日)）された夜の幻想的な桜も格別。

約1,000本
万本桜植樹帯
信濃川右岸堤防（中之島側）



与板橋下流から大河津分水路の6kmにわたり、ソメイヨシノが立ち並ぶ壮観な世界。

約100本
せせらぎ公園
小国町法坂

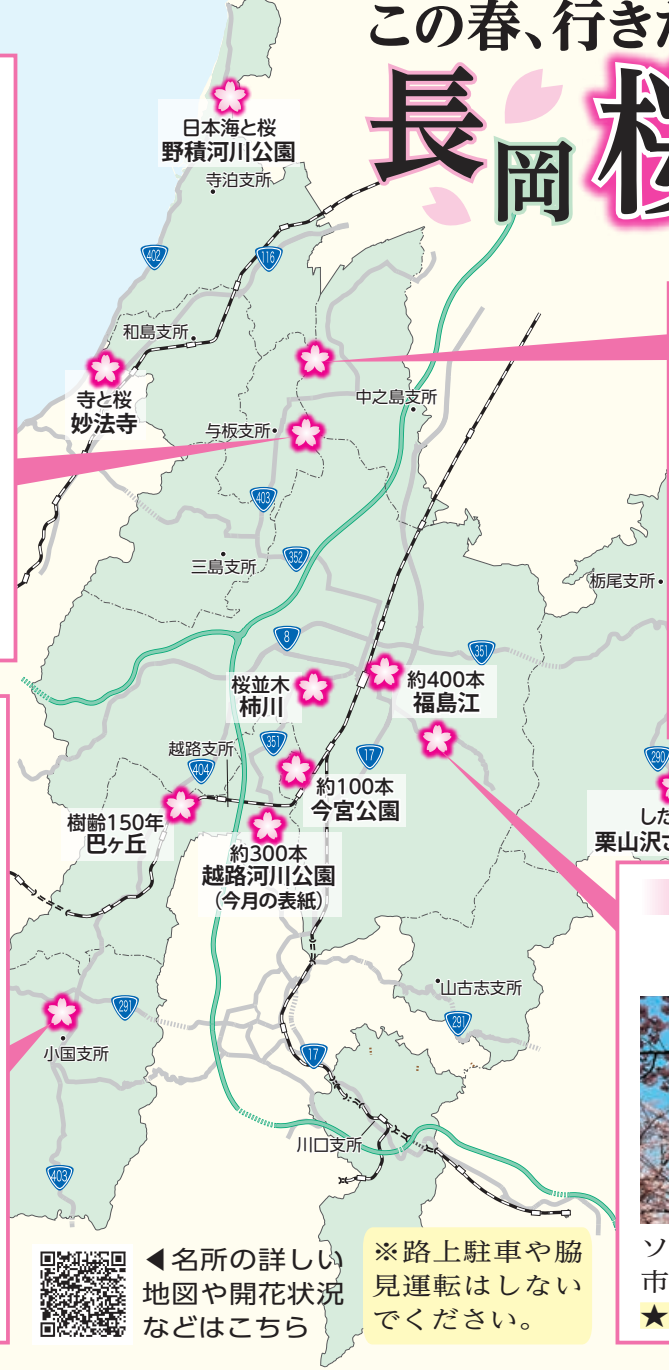


八石山や黒姫山の緑と桜の色の対比が演出する鮮やかな景色にうっとり。

約2,500本
悠久山公園
御山町



ソメイヨシノや八重桜など、市内最多の桜が圧巻。
★悠久山桜まつりは21ページへ



◀名所の詳しい地図や開花状況などはこちら

※路上駐車や脇見運転はしないでください。

【室谷洞窟出土品】



【火焰型土器】

「火焰土器」に代表される縄文土器は今から約1万5千年前、日本列島に登場したと考えられています。土器の発明で煮炊きが行われるようになり、食べられる植物や生き物の種類が飛躍的に増えて、まさに暮らしのイノベーション（技術革新）でした。

普通の土器の底の形状は、円形で平らな「円形平底」（下写真）です。しかし、縄文時代の始め（草創期）は、円形で底が丸い「円形丸底」と、四角形で平らな「方形平底（上写真）」の2種類が一般的。理由は定かではありませんが、草などで作った編みカゴなどの形をまねたとの説が有力です。

科学博物館で展示している国の重要文化財「室谷洞窟出土品」の土器はこの方形平底の典型で、全国でも数少ない復元例です。外側の文様は、簡素な縄の模様が付けられただけで、底の形状は四角形で角は丸みを帯びています。

草創期にだけ見られるこの特徴。縄文土器誕生の謎を解く鍵が隠されているのかもしれない。

底が四角？縄文土器のナゾ

科学博物館の学芸員が、あまり知られていないけど、実は「スゴい」「面白い」長岡の奥深き世界を紹介します。

長岡のミツキ 調査せよ！
Vol.1

岡科学博物館 ☎32・0546

「新連載スタート！」

■発行：長岡市（平成31年4月1日発行）
〒940-8501新潟県長岡市大手通1-4-10 ☎0258・35・1122(代)
※市政だよりは市役所総合ガイド、西・東サービスセンター、各支所で発行日から閲覧できます
編集：広報課 ☎0258・39・2202/FAX0258・39・2272

■人口と世帯（3月1日現在） ※（ ）内は前月比
人口/270,634人(-244) 世帯数/107,494世帯(-24)
男/132,242人(-125) 女/138,392人(-119)

http://www.city.nagaoka.niigata.jp

